

出前講義

大学の学びを小中高校で

理学療法士・作業療法士の先生方を講師に迎え、現在ニーズの高まっているリハビリテーション医療について詳しく、そして小学生にもわかりやすい講義が実施可能です。



出前講義対応期間

※1～4月においては、大学行事等繁忙期となることから出前講義はお受けできません。
※講師との日程調整に時間がかかる場合がございますので1ヶ月以上余裕をもってお申込みください。

実施年度の5月～12月(土、日、祝祭日はお受けできません)

※なお、大学行事・講師の業務等の関係でお受けできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
※出前講義は、高大接続事業として高校生・高校教員を対象としています。



COURSE DESCRIPTION

理学療法学専攻

適度に運動すると頭はよくなる? **50～90分** **運動** **認知機能**

運動しながら勉強すると記憶しやすくなる、運動が認知症予防に効果がある!?なんて話題を聞いたことがありますか? どんな種類の運動がいいのでしょうか? また運動時間や運動の強さは? ここでは、運動と認知機能の関係を考えていきたいと思います。

運動のスキルを高めるためには? **50～90分** **運動** **観察/イメージ**
～よく観ること、イメージすること～

運動を上達させるためにどんな工夫をしていますか? 理学療法士も患者さんの運動や動作の上達のためにいるな工夫をしています。ここでは、観察することやイメージすることが運動の上達にどんな関係があるかを考えていきたいと思います。

人間の脳は何をしているのか? 理学療法士は脳科学者でなければならない **50～90分** **脳機能** **理学療法**

「脳科学者」この言葉を知っていますか? 実は、理学療法士も「脳科学者」の一面があります。最新の脳科学を利用して、ヒトがとる行動の一部を脳科学的に考えていきたいと思います。

その人にあった、適切な運動を考えよう! **50～90分** **運動** **理学療法**

運動が体によいことは知っていますよね。では、なぜ体によいのでしょうか? また、どんな運動がよいのでしょうか? 関節や筋肉の構造、それから運動が全身に与える影響などを知り、どんな運動が効果的か考えるための基礎知識を講義します。

心臓の病気に対する理学療法 **50～90分** **心臓リハビリテーション** **理学療法**

心臓は生きている限り鼓動を止めない。そんな心臓が病気になった時、安静にしていたほうがいいのか? 運動したほうがいいのか? その答えを出すのは理学療法士です。心臓の仕組みと動きを知って心臓病に対して、安全に、効果的にリハビリテーションを実践する方法を講義したいと思います。

呼吸と理学療法 ～息苦しさを取り除こう～ **50～90分** **呼吸リハビリテーション** **理学療法**

息苦しいのってつらいよね? 呼吸(肺)の病気になるとどうしても息苦しくなって、動きたくなくなって、体力が落ちてしまう。そうするとちょっと動くだけでも苦しくなって悪循環に陥ってしまいます。理学療法士は、呼吸の病気に対して息苦しさを取り除く技術を持っています。呼吸のメカニズムを知って、ラクに楽しく生活するための呼吸リハビリテーションを講義したいと思います。

体が動くしくみ **50～90分** **運動学** **理学療法**

立ったり、座ったり、歩いたり、食べたり、話したり。私たちは毎日いろんな動き(動作)をしています。どのようなしくみで体は動くのでしょうか? うまく体を動かすことができない人を治療・サポートする理学療法士による講義です。

病気になるようにするには **50～90分** **予防** **理学療法**

ケガをしたり病気になってしまった人が元の生活に戻る手助けをするのが理学療法士の役割です。でも、そもそも病気になることが一番いいですよね。病気になるように予防するのも理学療法士の役割の一つです。一体どれくらい、どのような運動をした方がいいのか、どんな生活習慣に気を付けたらいいのか、テレビでやっているダイエットの方法は本当に正しいのか。そんな疑問を解決できるような講義をします。

筋肉の大きさや形の真実 ～正しく筋肉を触ってみよう～ **50～90分** **体表解剖** **理学療法**

身体を外から見ると、腹筋だったり、ふくらはぎだったり、筋肉の形を確認することができます。しかし、外から見える筋肉のイメージと、実際の筋肉の形や大きさは異なっていることがあります。正しい筋肉の大きさや形を知ると、より効果的に筋力アップやダイエットを行うことができます! 講義では、代表的な筋肉の形や大きさについてお話し、実際に正しく触る方法をお伝えします。

歩くとは **50～90分** **運動学** **理学療法**

病気やけがによって歩く機能を失った方を再び歩けるように支援することは理学療法士の仕事の一つです。皆さんが普段、何気なく行っている「歩く」という動作がどのように行われているかを解説します。また、実際に加速度計などの機械を使って、その場で歩きを分析してみます。

リハビリテーションとロボットの関わり **50～90分** **ロボット** **リハビリテーション**

最近、会話ができるロボットなどが登場していますが、リハビリテーションの分野にも、ロボット技術が導入されつつあります。ロボットと一緒にリハビリテーションをする未来もそう遠くはないかもしれません。講義では、実際にリハビリテーションの現場で使用されている機器や現在開発中の機器などを紹介します。

世界のリハビリテーション **50～90分** **開発途上国** **リハビリテーション**

リハビリテーションの在り方は、国によって様々です。世界を知ることで日本に関する新しい発見があるかもしれません。講義では、各国の歴史、文化、言語などを織り交ぜながらリハビリテーションの視点で、海外の状況について紹介していきます。

リハビリテーション関連(専攻共通)

理学療法士・作業療法士になるには! **50～90分** **リハビリテーション** **リハビリの世界への導入**

理学療法士 (PT)・作業療法士 (OT)とは?、大学・短期大学・専門学校での学びの違いは? 学費は?等皆さんにもわかりやすくご紹介いたします。

作業療法学専攻

「調理役割の再開」に対する作業療法士の視点 **50～90分** **調理役割の再開** **作業療法**

脳卒中で片手片足が不自由になった主婦Aさん(架空の人物です)。Aさんが「家族の食事を用意する」役割を再開するために、作業療法士はどのような点に着目し、どのように治療を進めていくのでしょうか。模擬体験を交えながら作業療法士の世界を覗いてみます。

手工芸を治療に活用する **50～90分** **手工芸** **作業療法**

作業療法では、紙細工や筆細工、陶芸などの手工芸を治療に活用することがあります。手工芸にはどのような治療的な効果が見込めるのか、作業療法士は治療に手工芸を取り入れる際、どのようなことを工夫しているのかなど、体験を通して作業療法の世界を覗いてみます。

身体に障害を持った人への作業療法 **50～90分** **身体障害** **作業療法**

身体に障害を持つことで、今まで何気なくできていた日常生活が送りにくくなります。そのような方に対して作業療法士は色々な手段を使って、今までの生活を取り戻せるように支援します。例えば、身体的な能力を回復していくような活動、生活が送りにくくなるような環境の整備、生活リズムなど日常の過ごし方の調整などを行います。作業療法士が支援する視点や実際の支援方法についてお話しします。

手の発達と道具の世界 **45～90分** **箸・ハサミ** **作業療法**

様々な箸やハサミがあります。これらの使用体験から手の機能について考えます。あわせて、自分の手にあった道具を発見してみましょう。

隙間を使った健康法 ～心と体を元気に～ **45～90分** **健康** **作業療法**

作業療法士が推奨する、隙間時間の活用法を伝授します。普段の姿勢、歩き方、五感、運動、脳活性化の話と実践をします。日常生活を再考して、心と体を元気にしませんか。

楽しい脳トレ法 ～シナプソロジーを活用して～ **40～90分** **シナプソロジー** **作業療法**

シナプソロジーは短時間で、集中力、注意力、判断力、記憶力を高めます。子どもから高齢者、会社やプロスポーツに活用されている脳トレ法。作業療法士が脳機能の説明とシナプソロジーを実践し、脳を活性化します。

講義内容

手の発達を支援する作業療法士のアイデア **40～90分** **発達支援** **作業療法**

手の発達から作業療法士が考案したスキルアップのための支援道具があります。様々な支援道具を体験しながら、手の発達と自分の手の機能について考えてみよう。

高齢期領域での作業療法 **50～90分** **高齢者** **作業療法**

高齢期領域の作業療法では、心身機能の低下に伴い地域社会での役割の遂行や日常生活の遂行が困難になっていく高齢者へ多様な支援を行います。高齢期に多くみられる社会生活や日常生活における問題を学び、それらに対応する支援方法の理解を深めます。今話題の認知症の人を支えるのも作業療法士の仕事です。地域での早期発見から、作業療法士ならではの関わり方について、皆さんにもわかりやすくご紹介いたします。

こころの病気のリハビリテーション ～うつ病を中心に～ **50～90分** **心の病気(うつ病を中心に)** **作業療法**

日本の年間の自殺者数は3万人近い状況です。うつ病は自殺につながりやすいため、早急な対処が必要となります。今回は、心の病気(うつ病を中心に)についてお話し、その治療法としての認知療法について簡単に触れます。そして、その中で実際の作業療法について紹介し、改めて心の健康とはどういうことかまとめ、受講者の皆さんの生活上での適用と一緒に考えてみようと思います。

やわらかあたま塾 ～コグトレで認知機能を高めよう!～ **50～90分** **コグニティブトレーニング** **作業療法**

近年、精神科領域での作業療法にて「コグトレ」が話題となっています。コグトレとは認知機能を高めるアプローチの一つです。認知機能は、障害の有無に関わらず社会で生きていくために必要な能力であり、社会的・学習的・身体的にアプローチすることができます。教育界でも注目されるコグトレと一緒に取り組んでみましょう。

ことばのない会話とは? ～ラリー塗り絵を使った実践～ **50～90分** **ノンバーバルコミュニケーション** **作業療法**

コミュニケーション障害、通称「コミュ障」という言葉を一度は耳にされたことがあるのではないのでしょうか。近年、日本の論文の中にもコミュ障について取り上げたものが多くありますが、多くの人はコミュニケーション=会話と思うのではないのでしょうか。しかし、コミュニケーションとは必ずしも会話をしなければならない訳ではありません。ラリー塗り絵(ペアで交互に行う色画)にて作業を介した会話を体験してみましょう。